

(別添資料1)

事業所名		NPO法人にこにこの会 にこにこキッズルーム		支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		31 日	
法人(事業所)理念		私たちは、「家庭でも学校でもない第3の居場所」としての役割を大切にしています。のんびり過ごす日も、仲間と共に少し頑張ってみる日も、思い切り遊ぶ日も、時に思うようにいかずに涙する日もあります。そのような日々の中、子どもたちがありのままの姿で安心して過ごせるように、私たちは寄り添います。にこにこの会のキャッチフレーズは、『ほくでなきゃ きみでなきゃ ここでなきゃ』です。一人ひとりが主役になり、輝ける瞬間を大切にします。遊びや活動を通じて成長や発達を促し、「楽しい！」「できた！」「またやってみよう！』という成功体験だけでなく、「できなかった」「やりたくない」といった思いも安心して発信できるような仲間や職員がいる場所を目指します。											
支援方針		【子どもたちの主体性を尊重し、安心して過ごせる環境づくり】 安心できる人間関係の中、ご本人の意思表示と、それに伴う自己実現の経験を積み重ね、主体性を育んでいきます。「仲間がやっている姿を見ている」、「できそうな部分にチャレンジしてみる」など、ご本人の参加できるタイミングや方法を尊重します。 【遊びや活動を通じて、社会性を育む支援の実施】 発達段階に応じた活動を提供し、遊びや楽しみの中で、人間関係を構築し、生活能力を育みます。見通しを持ち日々の活動に取り組めるように、視覚支援など各自が理解しやすい形式で、予定や活動内容を提示します。また、様々な体験活動を通して興味や関心の幅を広げ、繰り返し経験することで自信や自己肯定感を高めることを目指します。											
営業時間		学校休業日以外：13時30分から17時30分まで 学校休業日：10時00分から16時00分まで				送迎実施の有無		あり					
本人支援	健康・生活	・生活リズムの安定を図るための支援(食事・排泄・休息の確保など) ・基本的な生活動作の獲得を促す支援(食事・排泄・更衣・清潔など) ・来所時、活動時における健康状態の把握と、心身の状態に応じた過ごし方の提供 ・自分のペースに合わせたリラックスできる時間の提供 ・食への興味の広がりを目指す取り組み(調理活動・買い物学習など)											
	運動・感覚	・屋内外での身体活動を通じた感覚統合支援。道具や運動器具を活用した体力づくりの促進(公園遊び、体育館遊び、外出活動など) ・個々の発達段階に合わせた微細運動の提供(制作活動、調理活動など) ・活動や遊びを通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う(公園での遊具遊び、歩行、水遊び、調理活動など)											
	認知・行動	・スケジュール提示や、制作や調理など工程表を用いた作業を通して、見通しを持ち取り組む力を養う。 ・自他の気持ちを代弁したり、個の時間を設けて行動の振り返りの時間を設けたりすることで、自己認知力を養う。 ・役割を持たせることで成功体験を重ねる機会の提供(お誕生日会や卒業お祝いの会の司会進行など) ・季節行事を通して、季節の変化への興味などの完成を育てる。											
	言語コミュニケーション	・視覚支援ツールやマカトンサインなどを用いた支援にて、それぞれの児童の特性やストレングスを活かしたコミュニケーション手段やソーシャルスキルの獲得 ・他者との関係性を深めるための対話支援(適切な質問などを用いた会話のキャッチボールや、他者の間に入り気持ちを代弁しながらの相互コミュニケーションなど) ・遊びや活動を通じた言語発達の促進(帰りの会での楽しかったことの発表機会、しりとりやクイズ、歌やリズム遊び)											
	人間関係社会性	・友達との関わりを促進する遊びやグループ活動(共同での制作や調理活動、ボール遊びや鬼ごっこなど) ・社会ルールやマナーを自然に学べる環境づくりや活動(集団歩行、公的施設への外出活動、公共交通機関を用いた外出活動、買い物学習、レストラン学習など) ・他者との協力や助け合いの経験を通じた社会性の向上(異年齢によるグループ形成での助け合い機会の提供など) ・ルールのある遊びを取り入れ、順番や譲り合いの経験を積み機会の提供(室内外での各種レクリエーション遊びなど)											
	家族支援	・家庭での困りごとや悩みの相談支援、生活環境に応じた助言や支援の実施(定期面談の実施、連絡帳や送迎時の情報共有など) ・保護者同士の情報共有や、必要な情報提供(保護者会にて、保護者や行政職員等のゲストスピーカーを招いての場づくり)				移行支援		・進学や進級に応じた環境の変化への対応、日々の状態対応した支援の提供(学校送迎時にご様子を伺い、支援内容へ反映。) ・学校への情報の提供や共有含む、必要な連携 ・就労等に向けた準備の支援(面談時にご本人および保護者の要望等を確認し、必要なスキルの獲得機会を提供。掃除、PC作業など)					
地域支援・地域連携		・地域のイベントや活動への参加(福祉まつりへの出店参加、パラアート店への作品出展、ハロウィン行事での地域交流、近隣店舗での買い物学習など) ・地域の関係機関との連携を強化(支援会議の開催や参加、各種連絡会への参加、作業所カフェの使用など) ・公園や公共機関、近隣店舗の使用などの外出活動にて、障がいへの理解促進				職員の質の向上		・定期的な各種研修・勉強会への参加(定期的な内部研修の実施、外部研修の参加機会の確保、他事業所との合同研修の実施など。法定研修の例として、コンプラ・マナー研修、虐待防止研修、感染症予防研修、人権・ハラスメント研修など。) ・専門性向上のためのスキルアップ支援(キャリアに応じた専門研修への参加、必要に応じた資格取得支援など) ・日々のミーティングでの丁寧な情報収集および事例検討					
主な行事等		・季節ごとのイベント(夏祭り、クリスマスなど。イベント行事という非日常性で気持ちが高揚してしまう児童に対しても配慮しながら、季節を感じられる日々の取り組みの実施) ・土曜日活動(月2回、第2・第4土曜日実施。例として、遠方の公園への外出、ボウリング、カラオケ、東京タワー、動物園、水族館、科学館、食品サンプルづくりや絵付け体験など) ・バスを貸し切ったの野外活動(奥多摩のキャンプ村にて、自然の中でのダイナミックな川遊びや、スイカ割り等の体験)											